

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、コクロディニウム コンボルタムと呼ばれるプランクトンが最大1,840細胞/ml確認されました。当プランクトン1種単独の赤潮による漁業被害は全国でも確認されておりませんが、細胞数が非常に多いため、周囲の貧酸素化を招く可能性があります。そのため、今後海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また午前中の海水持ち込みによる調査にて確認されたコクロディニウム タイプ カササは確認されませんでした。

また、麻痺性貝毒の原因種は確認されませんでした。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水1mlでのプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム コンボルタム	コクロディニウム タイプ カササ
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)		
田ノ浦 採水時間 13:05 透明度 - m	1.0	29.9	33.7	6.8	105	0
田ノ浦沖① 採水時間 13:10 透明度 - m	1.0	30.2	33.5	11.1	585	0
田ノ浦沖② 採水時間 13:13 透明度 - m	1.0	30.5	33.6	14.6	1,840	0
ヒロウラ① 採水時間 13:18 透明度 - m	2.0	29.8	33.6	8.2	59	0
ヒロウラ② 採水時間 13:22 透明度 - m	2.0	28.1	34.4	5.0	590	0